

JIS

8 mm幅, ヘリカル走査記録, 情報交換用
磁気テープカートリッジ, AIT-1様式

JIS X 6145 : 2000
(ISO/IEC 15780 : 1998)
(JEIDA/JSA)

平成 12 年 7 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本電子工業振興協会 (JEIDA)/財団法人日本規格協会 (JSA) から日本工業標準原案を具して、日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS X 6145 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A(規定) テープ及びリーダーの光透過率の測定法
- 附属書 B(規定) 信号対雑音比の測定法
- 附属書 C(規定) 記録レベルの公称値及び最大許容値の決定法 (記録条件)
- 附属書 D(規定) 8 ビットバイトから 10 チャネルビットパターンへの変換
- 附属書 E(規定) ビットシフトの測定法
- 附属書 F(規定) トラックエッジの直線性の測定法
- 附属書 G(規定) ECC の計算
- 附属書 H(参考) 輸送条件
- 附属書 J(参考) 記録時再生 (RAW)
- 附属書 K(参考) 基本グループ 0 の内容の例

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 12.7.20

官 報 公 示：平成 12.7.21

原 案 作 成 者：社団法人 日本電子工業振興協会 (☎105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 TEL 03-3433-1923)

財団法人 日本規格協会 (☎107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会 (部会長 棟上 昭男)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は工業技術院標準部標準業務課 情報電気標準化推進室 [☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 適合性	1
2.1 カートリッジ	1
2.2 書込み装置	1
2.3 読取り装置	1
3. 引用規格	2
4. 定義	2
4.1 絶対フレーム番号 [absolute frame number(AFN)]	2
4.2 交流消去 (a.c. erase)	2
4.3 アクセス (access)	2
4.4 アルゴリズム (algorithm)	2
4.5 エリア ID(area ID)	2
4.6 自動トラックファインディング [automatic track finding(ATF)]	2
4.7 平均信号振幅 (average signal amplitude)	2
4.8 アジマス (azimuth)	2
4.9 裏面 (back surface)	2
4.10 バイト (byte)	2
4.11 カートリッジ (cartridge)	2
4.12 チャンネルビット (channel bit)	2
4.13 コードワード (codeword)	2
4.14 EWP(early warning point)	2
4.15 EOD(end of data)	2
4.16 エンティティ(entity)	2
4.17 誤り訂正符号 [error correcting code(ECC)]	2
4.18 磁束反転位置 (flux transition position)	2
4.19 磁束反転間隔 (flux transition spacing)	3
4.20 フレーム (frame)	3
4.21 ハウスキーピングフレーム (housekeeping frame)	3
4.22 LBOT(logical beginning of tape)	3
4.23 磁気テープ (magnetic tape)	3
4.24 信号振幅基準テープ (master standard amplitude calibration tape)	3
4.25 主基準テープ (master standard reference tape)	3
4.26 MIC(memory in cartridge)	3
4.27 パーティション境界 (partition boundary)	3
4.28 PBOT(physical beginning of tape)	3